講義要項　［シラバス］

岐阜県立国際園芸アカデミー

2023　マイスター科　2年生用

○ マイスター科　2年（前期）　開講科目

No.	分野	区分	科　　目　　名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	選　択	生産マネージメント実習Ⅱ	臼田	120
2	花き生産流通	選　択	生産課題解決演習Ⅱ	臼田	60
3	花き生産流通	選　択	基礎育種学	前田	30
4	花き装飾	選　択	フラワー装飾演習	林	60
5	花き装飾	選　択	ウェディング実習	林	30
6	花き装飾	選　択	フューネラル実習	林	30
7	花き装飾	選　択	装飾技術スキルアップ実習	吉田	45
8	花き装飾	選　択	2級園芸装飾技能検定対策実習	林	30
9	花き装飾	選　択	2級フラワー装飾技能検定対策実習	吉田	60
10	造園緑化	選　択	花修景実習Ⅲ	新井	30
11	造園緑化	選　択	造園施工・管理実習Ⅲ	新井	60
12	造園緑化	選　択	造園総合実習	新井	90
13	造園緑化	選　択	2級造園技能検定対策実習	新井	45
14	造園緑化	選　択	造園工学・施工論	新井	30
15	マーケティング	選　択	SNSプロモーション	井上	30
16	マネージメント	必　修	キャリアデザインⅡ	佐藤	30
17	マネージメント	選　択	基本簿記	佐藤	30
18	文化・利用	選　択	園芸文化研修	今西	30
19	文化・利用	選　択	盆栽実習	福本	15
20	植物管理	必　修	植物管理基礎実習Ⅲ	前田	30
21	国際性	必　修	海外視察研修	吉田	90
22	就業体験	選　択	インターンシップⅡ	各コース担当教員	60

○ マイスター科　2年（後期）　開講科目

No.	分野	区分	科　　目　　名	担当教員	時間数
23	花き生産流通	選　択	スマート農業研修	臼田	15
24	花き装飾	選　択	フラワービジネス演習	吉田	15
25	造園緑化	選　択	造園積算・施工管理演習	新井	15
26	造園緑化	選　択	公園・緑化概論	今西	15
27	マネージメント	選　択	植物ビジネス論	井上	15
28	就業体験	必　修	インターンシップⅢ	各コース担当教員	150
29	課題解決	必　修	卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	臼田	240
30			卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	吉田	
31			卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	相田	

国際園芸アカデミーの教員について

【専任教員】

今西 良共　学長　☆

千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。名古屋市役所職員として長年に亘り公園緑地行政に従事。公園緑地の計画から整備及び管理運営まで幅広く携わるとともに、花や緑にふれあう機会の提供や市民活動の支援など様々な事業を展開。大学の非常勤講師や国や地方公共団体の審議会・委員会等の委員多数。

＜花き生産コース＞

臼田　浩通　教授

東京農業大学農学部農業経済学科卒業。岐阜県庁入庁。普及指導員、農業革新支援専門員として長年花き生産指導にあたる。花き総合指導センター、(財)法人花の都ぎふ花と緑の推進センターで花きの生産指導・普及に取り組む。県庁農産園芸課花き担当チーフを務め花き行政にも明るく、県内の花き業界に幅広いネットワークを持つ。恵那農林事務所農業普及課長を経て現職。

井上　守　准教授　博士(農学)　☆

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了。㈱福花園植物流通センター取締役、豊明花き㈱経営企画課長、豊明物流㈱マネージャーなど花き流通業界に勤務した経験を活かして、商品の企画から販売までを実例を紹介しながら授業を行う。名古屋市立大学大学院　経済学研究科で経済学の非常勤講師を隔年で担当する。

前田　宝秀　准教授　博士(農学)

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了。大学院でアサガオの花芽形成の研究に従事後現職。東海地域花き普及・振興協議会および愛知豊明鉢物流通改善協議会主催の東海鉢物品評会などにおいて審査員を務める。アカデミーでは植物の生産に関わる実習を担当。また、植物生理学・基礎育種学の講義では、植物の生長の仕組みや、育種の基礎知識・技術について解説する。

＜花き装飾コース＞

吉田　久美子　准教授　☆

恵泉女学園短期大学園芸生活学科卒業。フラワー装飾技能士・グリーンアドバイザー。㈱ゴトウ花店、㈱白楽花園本店店長、㈱東光園（現：グリーン・ワイズ）販売部部長などを経て、オーガニック園芸店ｔａｐｒｏｏｔ主宰後現職。生花・鉢物販売や、デパート・ホテル・イベントなどにてグリーンディスプレイを多数手掛けた経験から、装飾全般、店舗経営などの科目を幅広く担当。基礎実践力、即戦力、応用力のあるフローリストの育成を目指している。

林　誠　　講師　☆

名古屋造形芸術大学デザイン学科卒業。青山フラワーマーケット勤務。店長を経て、本部にて仕入れ責任者として店長育成や店舗運営指導を担当の後、現職。花き装飾コースでは主にフラワーデザイン実習を担当。生花店で培ってきた経験やノウハウを次世代に引き継ぐべく、実践的な指導をしている。

＜造園緑化コース＞

相田　明　　教授　博士（造園学）

東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了。同大学造園科学科助手を経て現職。日本造園学会中部支部支部長、日本造園修景協会東海支部副支部長、NPO 法人日本園芸福祉普及協会監事、一般財団岐阜市未来のまちづくり財団評議員、岐阜市景観審議会委員、各務原市緑審議会長・景観審議会委員、ぎふ清流里山公園運営協働会議委員長など。

新井　俊宏　　准教授　☆

東京農業大学農学部造園学科卒業。(株)アーク造園設計事務所を経て岐阜県庁入庁。公園緑地課、花フェスタ記念公園、都市公園課などを経て現職。1 級造園施工管理技士、１級造園技能士、1 級土木施工管理技士、技術士補（建設部門)、岐阜県自然工法管理士などの資格を持つ。学生同士の協調性と個人の創造性を伸ばすことに主眼を置いて指導している。

＜マネージメント＞

佐藤　智茂　准教授　修士（法学）☆

名城大学大学院法学研究科修士課程修了。税理士法人中央経営勤務後、現職。主な担当科目は、職業選択や就職活動をサポートする授業『キャリアデザイン』、簿記会計の基本を学ぶ授業『基本簿記』、そして経営学の基礎知識を学ぶ授業『起業・経営シミュレーション』である。

慶應義塾大学ビジネススクール・ケースメソッド授業法研究普及室が認定する『ケースメソッド・インストラクター』を取得し、経営学習・教育の最先端の方法の一つである“ケースメソッド”の本校への導入と実践に取り組んでいる。

※☆は実務経験ありの教員

【客員教授】

氏　名	専門分野	役　職
上田　善弘	花卉園芸学 園芸文化	前岐阜県立国際園芸アカデミー学長 ぎふワールド・ローズガーデン理事
大川　勝徳	園芸文化	元 岐阜県立国際園芸アカデミー学長 金沢大学 名誉教授
鹿野　陽子	造園学	元岐阜県国際園芸アカデミー教授 鹿野都市建築計画事務所　代表
進士　五十八	造園学	東京農業大学名誉教授・元学長 福井県立大学名誉教授・前学長
武田　純	造園学	元岐阜県国際園芸アカデミー教授 ウッズプランニング代表
長縄　律子	装飾	元岐阜県国際園芸アカデミー特任教授 岐阜県フラワー装飾技能検定協議会顧問
吉長　成恭	園芸療法	日本園芸福祉普及協会理事長

【非常勤講師】

氏　名	業種・専門	役　職
浅野　洋一　　☆	公園管理運営	ぎふWRGマネジメントグループバラ管理課　課長
安保　有美　　☆	フローリスト	有限会社　アボウオーキッド
天野　勝美　　☆	造園施工管理	株式会社豊田ガーデン　代表取締役
天野　麻里絵　☆	ガーデナー	株式会社豊田ガーデン花遊庭専属ガーデナー
池上　東平　　☆	造園施工管理	昭和造園土木株式会社
石神　洋一　　☆	園芸福祉	特定非営利活動法人たかつき代表理事
市橋　正一	園芸学	元愛知教育大学　教授
伊藤　健文　　☆	弁護士	河合法律事務所　弁護士
上野　恵　　☆	公園管理運営	ぎふWRGマネジメントグループ植栽管理課　課長
荏原　温子　　☆	カラーコーディネーター	株式会社　花・色デザイン研究所　代表取締役
大脇　みどり	英語講師	英語講師
小笠原　誓　　☆	園芸文化	名古屋園芸株式会社　代表取締役社長
尾関　純子　　☆	ユーチューバー	花創人　代表
小関　正司　　☆	花き生産	小関園芸
落合　正樹	園芸学	岐阜大学応用生物科学部助教
片倉　佳容　　☆	いけばな	池坊岐阜中央支部　副支部長
加藤　友規　　☆	造園施工管理運営	植彌加藤造園株式会社代表取締役社長 京都造形芸術大学　教授
金澤　美浩　　☆	花き生産・育種	有限会社矢祭園芸　代表取締役
國井　理佐　　☆	フローリスト	クニイ園芸
佐久間　貴敏　☆	園芸装飾	株式会社　華友園　リース部部長
嶋津　光鑑	植物環境制御学	岐阜大学応用生物科学部教授
高木　雄基　　☆	造園施工管理	ランドスケープ庭吉　代表
田中　修一　　☆	ガーデンデザイナー	JIAXING SHUYI GARDEN
中西　裕子　　☆	フローリスト	フラワーデザインスクール　ブレーメ主宰
新山　星　　☆	フローリスト	フローリスト
西垣　直人　　☆	造園施工管理	株式会社 LEAF　代表取締役
西川　真水　　☆	造園学	西日本短期大学　緑地環境学科学科長
日比　真一　　☆	造園施工管理運営	昭和造園土木株式会社　代表取締役社長
福井　典子　　☆	ギャザリング	F.company 代表
福永　哲也　　☆	園芸流通	豊明花き株式会社　代表取締役社長
福本　野恵　　☆	盆栽	芳津園
ヘンティネン　クミ☆	フラワーデザイナー	梨乃花FIND　北欧ﾌﾗﾜｰデザイン協会 Flower　School LINOKA Kukka　代表
堀部　裕美子　☆	造園設計(CAD)	studio Moat club　代表
水谷　喜輝　　☆	花き生産	美咲園芸代表
村脇　恵理　　☆	キャリアカウンセラー	オフィス成旺　所属　キャリアコンサルタント
横山　直樹　　☆	花き生産	横山園芸　代表
若尾　光秀　　☆	造園施工管理	有限会社根本造園　代表取締役社長
脇田　ひかる　☆	フローリスト	株式会社プーコニュ
渡邉　三好　　☆	造園施工	株式会社中濃　土木主任

※ ☆は実務経験ありの教員

NO.1

科　目	担当教員（○主担当）	主なSDGs
生産マネージメント実習Ⅱ	○臼田 浩通、井上 守☆、前田 宝秀	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	120	区分	選択	分野	花き生産流通

背景と目的	『花き生産実習Ⅰ』、『生産マネージメント実習Ⅰ』を通じて学んだ花き生産技術を活用して、各学生に担当温室を割り当て、温室の利用計画の作成から温室管理を行う。また、1年生の『花き生産実習Ⅰ』と同時開講とし、栽培基礎技術を1年生に教える事を通じて、マネージメント能力の向上も図る。
到達目標	①施肥設計や品目、品種設定ができる。　④作業内容のふり返りと必要な改善項目の報告ができる。 ②温室の栽培管理ができる。 ③1年生指導を通じてリーダーシップを理解する。
授業外の学習	授業時間外でも、担当温室の生育状況の確認し、適切な管理を行うこと。
評価方法	取組姿勢（80%）、実習日報(20%)
教科書	－
参考書	－
関連する資格	－

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	温室の担当者を決め、年間作付計画の作成から栽培管理の実践に取り組み、毎回実習日報を提出し、業務記録記帳のトレーニングを行う。『花き生産実習』と重複する時間は1年生に栽培基礎技術を教える。			
回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	30	春季休業中の温室管理	担当温室管理の取組	臼田・井上・前田
2	4	マネージメント能力とは	マネージメント能力と組織について	臼田・井上・前田
3	4	1年生への基礎技術指導①	苗物ポット上げ、切花トルコギキョウ定植指導及び温室管理①	臼田・前田
4	4	1年生への基礎技術指導②	苗物栽培試験、切花ガーベラ管理指導及び温室管理②	臼田・前田
5	4	1年生への基礎技術指導③	鉢物ポット上げ、切りバラ芽整理指導及び温室管理③	臼田・前田
6	4	1年生への基礎技術指導④	寄せ植え商品作成、切花ガーベラ収穫調整指導及び温室管理④	臼田・前田
7	4	1年生への基礎技術指導⑤	鉢物施肥出荷調整、切りバラ出荷調整指導及び温室管理⑤	臼田・前田
8	4	1年生への基礎技術指導⑥	植物の仕立て方、切花ソラナム定植指導及び温室管理⑥	臼田・前田
9	4	1年生への基礎技術指導⑦	鉢物培養土の化学性調査、切花フランネルフラワー鉢上げ指導及び温室管理⑦	臼田・前田
10	4	1年生への基礎技術指導⑧	鉢物培養土調整、切花トルコギキョウ側枝整理指導及び温室管理⑧	臼田・前田
11	4	1年生への基礎技術指導⑨	シクラメン鉢替え、切花マトリカリア収穫調整指導及び温室管理⑨	臼田・前田
12	4	1年生への基礎技術指導⑩	鉢物病害虫防除施肥、切花トルコギキョウ収穫調整指導及び温室管理⑩	臼田・前田
13	4	1年生への基礎技術指導⑪	鉢物施肥出荷調整、切花キク定植指導及び温室管理⑪	臼田・前田
14	4	1年生への基礎技術指導⑫	シクラメンの管理①、切り花キンギョソウ定植指導及び温室管理⑫	臼田・前田
15	4	1年生への基礎技術指導⑬	シクラメンの管理②、切花キク芽整理指導及び温室管理⑬	臼田・前田
16	4	担当温室管理のふり返り	担当温室の管理の改善点等の検討	臼田・井上・前田
17	30	夏季休業中の温室管理	担当温室管理の取組	臼田・井上・前田

特記事項	授業内容は、各担当温室の状況などにより変更する場合がある。 花き生産コース専攻生には強く推奨する。 春季休業、夏季休業期間中に60時間開講する。
学生へのメッセージ	自ら温室の管理を行うことや1年生に栽培基礎技術を教えることで、マネージメント能力の向上に努めましょう。

NO.2

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
生産課題解決演習Ⅱ	○臼田 浩通、井上 守☆、前田 宝秀	

授業形態	演習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	花き生産流通

背景と目的	本科目では、2年後期の卒業研究・卒業制作に向け、商品開発や企業連携など現場の課題に直結した課題研究に取り組み、結果に基づいた課題の再構築を通じて課題解決力向上を図る。
到達目標	①適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。 ②課題研究を通じて課題解決力を身につける。 ③課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。
授業外の学習	授業時間外でも、課題に取り上げた植物について常に観察を行うこと。
評価方法	取組姿勢(70%)、活動実績書(30%)
教科書	－
参考書	－
関連する資格	－

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	学生それぞれが、課題研究テーマを設定して調査・研究を行い、活動実績書としてまとめる。 原則毎回ゼミ会議を行い、進捗状況等の報告と検討を行う。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	個別課題研究テーマの調査	ゼミ会議及び個別課題研究テーマ設定に向けた調査	臼田・井上・前田
2	4	個別課題研究テーマの検討	ゼミ会議及び個別課題研究テーマの検討	臼田・井上・前田
3	4	調査計画書の作成	ゼミ会議及び個別課題研究テーマに基づいた調査等計画書の作成	臼田・井上・前田
4	4	個別課題研究の実施①	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理①	臼田・井上・前田
5	4	個別課題研究の実施②	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理②	臼田・井上・前田
6	4	個別課題研究の実施③	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理③	臼田・井上・前田
7	4	個別課題研究の実施④	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理④	臼田・井上・前田
8	4	個別課題研究の中間検討	個別課題の進捗状況の中間検討と見直し	臼田・井上・前田
9	4	個別課題研究の実施⑤	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理⑤	臼田・井上・前田
10	4	個別課題研究の実施⑥	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理⑥	臼田・井上・前田
11	4	個別課題研究の実施⑦	ゼミ会議及び個別課題の調査及びデータ整理⑦	臼田・井上・前田
12	4	活動実績書作成①	ゼミ会議及び個別課題の活動実績書の作成①	臼田・井上・前田
13	4	活動実績書作成②	個別課題の活動実績書の作成②	臼田・井上・前田
14	4	活動実績書発表	個別課題の活動実績書の発表と検討	臼田・井上・前田
15	4	個別課題の見直し	卒業研究・卒業制作に向けた課題の見直し	臼田・井上・前田

特記事項	個別課題に取り組むため、進捗状況により授業内容は変更する場合がある。 鉢物、苗物及び切り花などの栽培技術、商品開発、流通技術等に関する課題テーマとする。
学生へのメッセージ	課題の発見、課題解決に向けた試験計画の作成・実行・評価を通じて社会人として必要な課題解決能力を身につけましょう。

NO.3

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
基礎育種学	〇前田 宝秀	

授業形態	講義	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	花き生産流通

背景と目的	嗜好品としての性格が強い花は、野菜・果物・作物と比べ、多くの品種が存在し、生産したり植栽する花の品種がどのよう誕生するかを理解することは重要である。 本科目では、育種を行う上で基礎となる遺伝の仕組みをまず理解し、様々な育種方法について学ぶだけでなく、実際に育種目標を立てて植物の交配も行う。さらに、種苗法について学ぶことで、育成品種の権利保護の仕組みを理解する。
到達目標	①植物の遺伝の仕組みを理解する。 ②様々な育種の方法について知る。 ③交配育種に必要な基本的知識および技術を習得する。
授業外の学習	・参考書や図書室の関連書籍を利用して、授業内容についての発展学習をすること。 ・実習で取り扱う植物については、授業時間外でも定期的に経過観察をすること。
評価方法	取組姿勢（20%）、レポート（80%）
教科書	—
参考書	『植物の遺伝と育種』（養賢堂）、『花の品種改良入門』（誠文堂新光社）
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	花の育種の特徴	花の育種の現状と課題	前田
2	2	遺伝の基礎①	遺伝子と染色体	前田
3	2	遺伝の基礎②	植物の生活環と細胞分裂様式	前田
4	2	遺伝の基礎③	メンデルの法則	前田
5	2	遺伝の基礎④	変化咲きアサガオを用いた植物形質の遺伝の観察	前田
6	2	遺伝の基礎⑤	F1品種の特性	前田
7	2	育種の方法①	育種の原理と交配の仕組み	前田
8	2	育種の方法②	導入育種法・交雑育種法	前田
9	2	育種の方法③	雑種強勢育種法	前田
10	2	育種の方法④	交雑育種における育種目標の設定	前田
11	2	育種の方法⑤	トルコギキョウを用いた交配	前田
12	2	バイオテクノロジー①	バイオテクノロジーの基本原理	前田
13	2	バイオテクノロジー②	組織培養・遺伝子組み換え・ゲノム編集技術	前田
14	2	種苗登録①	種苗登録システム	前田
15	2	種苗登録②	品種育成者の権利保護	前田

特記事項	教室の座学で遺伝育種の理論を学び一方で、温室で育てた植物の形態観察を通して、遺伝について学ぶ。また、トルコギキョウ（予定）を用いて、育種目標を立てて実際に交配を行う。授業項目によっては、温室で作業を行うこともある。
学生へのメッセージ	育種の方法について座学で学ぶだけでなく、植物の種を播いてメンデルの法則を自分の目で見てもらいます。また、育種家になった気分で簡単な育種目標を設定して、実際に交配も行います。難解と思われがちな育種について、親しみと興味が持てるような内容です。

NO.4

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
フラワー装飾演習	○林 誠☆、吉田 久美子☆、長縄 律子☆(客員教授)	

授業形態	演習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	フローリストの仕事はクライアントの要望や予算に合わせ花束、アレンジメントはもちろんのこと、空間を花や緑で飾るディスプレイなどさまざまな技術が求められる。 本科目では『フラワーデザイン実習Ⅰ・Ⅱ』で培った技術を基に、花の原価を知り、デザインの幅を広げて発想力を豊かにし実践的な装飾技術の習得を目的とする。
到達目標	①空間を花で飾る技術を習得する。 ②花き装飾の歴史的かつ文化的行事などの知識を習得する。 ③花の原価について知る。 ④フローリストとしての発想力や応用力を習得する。
授業外の学習	・図書館にある『フローリスト』、『花時間』等を読みアイデア出しを行うこと。 ・制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。 ・花材調達のため早朝市場へ行きます。 ・各自生花店へ行き、花材を調達すること。
評価方法	取組姿勢(50%)、実技(30%)、レポート(10%)筆記試験(10%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の数科書』(講談社)
参考書	『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	デモンストレーションを参考に作品を制作する。 デザイン・コンセプトを自ら考え作品を制作する。 グループでディスプレイを制作する。

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	8	会場装花①	入学式会場装花の花材調達・準備	吉田・林
2	8	会場装花②	入学式会場装花の制作	吉田・林
3	4	花き装飾の歴史と文化	「花き装飾の歴史」と「園芸装飾の歴史」	吉田
4	4	イベントのディスプレイ①	学内会場装飾の花材調達・準備	林・吉田
5	8	イベントのディスプレイ②	学内会場装飾の準備	林・吉田
6	8	イベントのディスプレイ③	学内会場装飾の制作	林・吉田
7	4	ヨーロピアンデザイン①	「平行と交差」「共同形態」「材質感を見せる」	長縄
8	4	ヨーロピアンデザイン②	「静止と動き」「高く挿された」「材質感を見せる」	長縄
9	4	花き装飾のデザイン①	花の個性と特徴をいかす造形・デザイン理論	林
10	4	花き装飾のデザイン②	「グリーンの役割とその効果」「吸水性スポンジを使用しない花留め方法」	吉田
11	4	試験	筆記試験・実技(吸水性スポンジを使用しないアレンジメント)	吉田・林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。 花き装飾コース専攻生には強く推奨する。
学生へのメッセージ	フローリストとしての発想力や応用力を身につけましょう。

NO.5

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
ウェディング実習	○林 誠☆、吉田 久美子☆、脇田 ひかる☆(非常勤講師)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	フローリストにとってウエディング業務とは、ブーケ、ブートニア、テーブル装花など、結婚式にまつわる花をトータルコーディネートすることである。そのためには、花の知識だけでなく、空間プロデュース、イベント企画などの知識も必要になってくる。 本科目では、クライアントの要望や予算に合わせ、披露宴会場のトータルコーディネートを経験し、ウエディング技術の習得を目的とする。
到達目標	①デザイン力、提案力、応用力を習得する。 ②ウエディング装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。 ③チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。 ④ウエディングの基礎知識を習得する。
授業外の学習	・図書館にある『フローリスト』、『花時間』等を読みアイデア出しを行うこと。 ・予定や計画、準備や進行状況などグループでミーティングを行うこと。 ・制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。 ・花材調達のため早朝市場へ行きます。 ・各自生花店へ行き、花材を調達して制作すること。
評価方法	取組姿勢(50%)、実技(40%)、筆記試験(10%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)
参考書	『NFDウエディングフラワーコーステキスト』(日本フラワーデザイナー協会)、『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	グループでミーティングを行い、デザイン・コンセプトを考える。 グループでウエディングの会場装花を制作し、セレモニーのトータルコーディネートを行う。

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	ウエディング装花①	ウエディング装花の概要	脇田
2	4	ウエディング装花②	ウエディング装花の企画	脇田
3	2	ウエディング装花③	ウエディング装花の花材調達・準備	林・吉田
4	4	ウエディング装花④	ウエディングブーケ・ガーランド制作	脇田・林・吉田
5	8	ウエディング装花⑤	ウエディング装花の制作	脇田・林
6	8	試験	筆記試験・実技(ウエディングブーケ・コサージュ・ヘッドピースの制作)	脇田・林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。 花き装飾コース専攻生には強く推奨する。
学生へのメッセージ	みんなで感動を与えるような会場装花を制作しましょう。

NO.6

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
フューネラル実習	○林 誠☆、長縄 律子☆(客員教授)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	葬儀のあり方が多様化した現在、「家族だけの葬儀がしたい」と考える人が増えてきており、フューネラル業界における生花装飾部門には、故人のライフスタイルに合わせた様々なリクエストに応じた対応が求められている。 本科目では日本の葬儀装飾技術を継承しつつ、新たなフューネラルビジネスにおける葬儀装飾技術を習得することを目的とする。
到達目標	①デザイン力、提案力、応用力を習得する。 ②フューネラル装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。 ③チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。 ④フューネラルの基礎知識を習得する。
授業外の学習	・図書館にある『フローリスト』、『花時間』等を読みアイデア出しを行うこと。 ・予定や計画、準備や進行状況などグループでミーティングを行うこと。 ・制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。
評価方法	取組姿勢(60%)、レポート(30%)、筆記試験(10%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)
参考書	『日本の生花祭壇』(株式会社パイインターナショナル)、『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	グループでミーティングを行い、デザイン・コンセプトを考える。 グループでフューネラルなどの会場装花を制作し、セレモニーのトータルコーディネートを行う。

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	フューネラル装花①	フューネラル装花の概要	長縄
2	4	フューネラル装花②	フューネラル装花の企画	長縄
3	4	フューネラル装花③	フューネラル枕花の制作	長縄・林
4	8	フューネラル装花④	フューネラル装花の制作	長縄・林
5	4	フューネラル装花⑤	フューネラル装花のメンテナンス	林
6	4	まとめ	装花制作の考察・まとめ	林
7	2	試験	筆記試験	林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。 花き装飾コース専攻生には強く推奨する。
学生へのメッセージ	みんなで感動を与えるような会場装花を制作しましょう。

NO.7

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
装飾技術スキルアップ実習	〇吉田 久美子☆、林 誠☆、新山 星☆（非常勤講師）、長縄 律子☆（客員教授）	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	45	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	フローリストとしてクライアントの要望に応えられる技術や知識は不可欠である。 本科目では1年生で学んだ花き装飾の知識と技術を確実に自分の物にすべく装飾技術を磨き、熟練技能者の指導を受けることで、更に高い技術の習得を目的とする。
到達目標	①フローリストとしての発想力や応用力を習得する。 ②フローリストとしてフラワーデザインに関する知識を習得する。 ③課題に取り組むことでフローリストとしての作業所作を習得する。
授業外の学習	実習で学んだ技術を復習し身につけておくこと。
評価方法	取組姿勢(50%)、実技(50%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』（講談社）
参考書	『フローリスト』（誠文堂新光社）、『花時間』（株式会社KADOKURA）、『フラワー装飾技能検定試験・実例とポイント』（講談社エディトリアル）
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	スキルアップ課題を各自決めて、課題に合わせて、個別に指導を行う。

回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	1	スキルアップ課題の計画	課題制作の計画	吉田・林
2	4	課題制作①	課題制作の花材・資材の確認	吉田・林・新山
3	4	課題制作②	課題制作の基本技術の確認	吉田・林・新山
4	4	課題制作③	課題制作の基本技術の応用	吉田・林・新山
5	4	課題制作④	課題制作を通して多彩な技術の習得	吉田・林・新山
6	4	課題制作⑤	課題制作を通して完成度向上技術の習得	吉田・林・新山
7	4	課題制作⑥	課題制作を通して効率的技術の習得	吉田・林・新山
8	4	課題制作⑦	熟練技能者による指導①花束・アレンジメント	長縄
9	4	課題制作⑧	熟練技能者による指導②ブライダルブーケ	長縄
10	4	課題制作⑨	熟練技能者による指導③アシストを使った花束	長縄
11	4	課題制作⑩	課題制作を通してオリジナリティの創出	吉田・林
12	4	スキルアップ課題の講評	制作時間・完成度・オリジナル性の講評	吉田・林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。
学生へのメッセージ	装飾技術のスキルを伸ばそう。

NO.8

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
2級園芸装飾技能検定対策実習	〇林　誠☆、佐久間 貴敏☆（非常勤講師）	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	園芸装飾技能検定は花や緑の装飾に関わる職業に従事する人として、室内装飾の技術があるかの判断するための国家試験である。 本科目は園芸装飾技能士の取得もしくは、同レベルの技術と知識の取得を目的とする。
到達目標	①2級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。 ②2級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。 ③実技試験内容を繰り返し制作練習することで装飾技術を習得する。
授業外の学習	・実技試験の練習は授業外にも自主的に行うこと。 ・受講にあたって各自予習、復習を行うこと。
評価方法	取組姿勢（50%）、実技（50%）
教科書	—
参考書	『園芸装飾ハンドブック』（マルモ出版）
関連する資格	2級・3級園芸装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	実技課題を、各自の習得スピードに合わせて、指導を行う。

授業計画

回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	4	検定試験の概要	検定試験の概要説明と準備	林
2	4	実技試験対策①	実技課題1の制作の基本	林
3	4	実技試験対策②	実技課題1の制作の基本の徹底	林
4	4	実技試験対策③	実技課題2の制作の基本	林
5	4	実技試験対策④	実技課題2の制作の基本の徹底	林
6	4	実技試験対策⑤	効率的な実技課題制作	佐久間
7	4	実技試験対策⑥	制限時間内での実技課題制作	林
8	2	学科試験対策	過去問題・模擬問題	林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。 時間外の練習も必要なため授業外も練習する意欲が必要となる。
学生へのメッセージ	合格目指して頑張りましょう。

NO.9

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
2級フラワー装飾技能検定対策実習	新山 星☆（非常勤講師）、〇吉田 久美子☆	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	2級フラワー装飾技能検定は生花店で熟練した技術者が有するべき高度技術を習得を目指すための国家検定試験です。本科目は時間制限のあるなかで、3課題7デザインを反復練習することで2級フラワー装飾技能士の取得もしくは、同レベルの技術と知識の習得を目的とする。また、熟練技能者の指導を受けることで、更に高い技術を目指す。
到達目標	①2級フラワー装飾技能検定の合格水準の技術力を習得する。 ②学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。 ③実技試験練習を繰り返すことでフローリストとしての作業所作を習得する。
授業外の学習	実習で学んだ技術を復習し習得すること。学科過去問題を予習しておくこと。
評価方法	取組姿勢（50%）、実技（50%）
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』（講談社）
参考書	『フラワー装飾技能検定試験・実例とポイント』（講談社エディトリアル）
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		花束・アレンジメント・ブライダルブーケの3課題7デザインを、花材の入荷と各自の習得スピードに合わせて、個別に指導を行う。		
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	4	デモンストレーション①	国家試験と課題の概要説明と課題1のデモンストレーション	吉田
2	4	デモンストレーション②	課題2・課題3のデモンストレーション	吉田
3	4	実技試験対策①	課題1花束（ラウンドA）（ラウンドB）	新山
4	4	実技試験対策②	課題2アレンジメント（ファン）	新山
5	4	実技試験対策③	課題2アレンジメント（トライアンギュラー）	新山
6	4	実技試験対策④	課題2アレンジメント（ホリゾンタル）	新山
7	4	実技試験対策⑤	課題3ブライダルブーケ（キャスケード）	新山
8	4	実技試験対策⑥	課題3ブライダルブーケ（クレッセント）	新山
9	4	実技試験対策⑦	制限時間内での花束制作テクニックの取得	新山
10	4	実技試験対策⑧	制限時間内でのアレンジメント制作テクニックの取得	新山
11	4	実技試験対策⑨	制限時間内でのブライダルブーケ制作テクニックの取得	新山
12	4	実技試験対策⑩	制限時間内での制作テクニックの取得	吉田
13	8	実技試験対策⑪	フラワー装飾一般・作業方法・植物一般・安全衛生について 過去問題解説・練習問題	吉田
14	4	学科試験対策	過去問題解説・練習問題	吉田

特記事項	フラワー装飾技能士3級取得者、実務経験2年以上のものは履修・受検可能。また2級保持者も履修可能。 1年生で履修希望する場合は担当教員と協議し「相互科目履修」を申請し許可を受け、履修すること。 合格を目指すには、授業外の練習も必要。授業外も練習する意欲が必要になる。 また花材費約8万円かかる。 2級フラワー装飾技能検定の成績優秀者は全国技能五輪大会への出場のチャンスがある。
学生へのメッセージ	2級合格目指しましょう。

NO.10

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
花修景実習Ⅲ	〇新井 俊宏☆、上野 恵☆（非常勤講師）	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	『花修景実習Ⅱ』に続き、ぎふワールド・ローズガーデンを実習地とするこの実習は、有料公園における花修景の手法として、一年草を中心とした植栽計画・管理方法の習得を目的とする。
到達目標	①有料公園における花修景の植栽計画・年間管理を理解する。 ②グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。
授業外の学習	季節ごとに咲く花に関心を持ち、写真を撮るなどして変化を観察すること。
評価方法	取組姿勢（70%）、提出物（30%）
教科書	『小さくても素敵な花壇づくり』（講談社）
参考書	『ガーデン植物大図鑑』（講談社）
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	講義や内容の説明をした後、実習を行う。ぎふワールド・ローズガーデンへはバスを利用し移動する。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	4	春花壇の管理	一年草、球根などの管理（花柄摘み、除草） 【ぎふワールド・ローズガーデン】	上野・新井
2	8	夏花壇の植栽	一年草などの植栽（全面植替え） 【ぎふワールド・ローズガーデン】	上野・新井
3	6	夏花壇の管理①	一年草などの管理（花柄摘み、除草） 【ぎふワールド・ローズガーデン】	上野・新井
4	4	夏花壇の管理②	一年草などの管理（切り戻し、花柄摘み、除草） 【ぎふワールド・ローズガーデン】	上野・新井
5	8	秋花壇の植栽	一年草などの植栽（部分植替え） 【ぎふワールド・ローズガーデン】	上野・新井

特記事項	実習ではハサミ、手袋、帽子、作業し易い服装が必要。
学生へのメッセージ	県営公園であるぎふワールド・ローズガーデンには多くの一般来園者の方が訪れます。そして当公園は有料公園ですので、お客様に綺麗な花壇を見ていただくことを意識して実習を行いましょう。

NO.11

科　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
造園施工・管理実習Ⅲ	〇新井 俊宏☆、池上 東平☆（非常勤講師）	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	『造園施工・管理実習Ⅰ、Ⅱ』で行った実習の一部を再度行い、技術を確実に習得することを目標とする。 施工実習では、これまでの実習で得た技術を生かして、学内に造園施設を制作する。管理実習では、植物について時期や生育特性に合わせた管理方法について学内外で実習を行う。
到達目標	①造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。 ②造園施設（張芝、石積み、園路、景石など）の施工方法を習得する。 ③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。
授業外の学習	・学内造園空間のエリア管理を必要に応じ行うこと。 ・「Landscape Design」、「庭」、環境緑化新聞等を読むこと。
評価方法	取組姿勢(70%)、提出物(30%)
教科書	『造園施工必携』（日本造園組合連合会）
参考書	『造園技術ハンドブック』（誠文堂新光社）
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	学内の庭園や植栽地及び学外（ぎふワールド・ローズガーデン）の実習フィールドにおいて、造園施工作業及び造園管理作業の実習を行う。毎回、実習の内容を野帳等に記して翌日提出すること。			
回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	造園管理①	学内庭園の管理（学びの森、実習棟前花壇メンテナンス）	新井
2	4	造園管理②	ぎふワールド・ローズガーデン・庭園の管理（学外）	新井
3	4	造園管理③	常緑樹、落葉樹の剪定（本館前庭園）	池上
4	4	造園管理④	学内庭園の管理（実習棟前、学びの森、研修棟花壇植替え）	新井
5	4	造園管理⑤	常緑樹、落葉樹の剪定（芝生広場周辺）	池上
6	4	造園管理⑥	学内庭園の管理（芝生広場周辺）	新井
7	4	造園管理⑦	学内庭園の管理（学びの森）	新井
8	4	造園施工①	学内庭園の整備（学びの森・園路整備・既存階段撤去）	新井
9	4	造園施工②	学内庭園の整備（学びの森・園路整備・丁張設置）	新井
10	4	造園施工③	学内庭園の整備（学びの森・園路整備・石積）	新井
11	4	造園施工④	学内庭園の整備（学びの森・園路整備・舗装）①	新井
12	4	造園施工⑤	学内庭園の整備（学びの森・園路整備・舗装）②	新井
13	4	造園施工⑥	建仁寺垣の施工①（技能検定1級課題）	新井
14	4	造園施工⑦	建仁寺垣の施工②（技能検定1級課題）	新井
15	4	造園施工⑧	蹲踞、延段、景石、植栽の施工（技能検定1級課題）	新井

特記事項	実習時は作業着、グローブ、保護帽などを着用すること。天候などの理由により実習内容を変更する場合がある。夏期の高温時の実習では、熱中症防止のため帽子を着用し水分補給をすること。
学生へのメッセージ	造園の基本的な知識や技術、センスをこの授業でしっかり身につけてください。

NO.12

科　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
造園総合実習	〇新井　俊宏☆	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	90	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	1年次に造園技能の基本を学び、各論ともいえる様々な講義・実習科目などを通して必要な知識・技術・技能を習得した。また、『測量実習』、『製図実習』では空間づくりのプロセス基礎を学んだ。本実習ではこれまで学んできたことにより、与えられた敷地空間の計画・設計から施工までを行う。それぞれにテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等その根拠となる設計図書を作成し、このデザインをもとに実際の空間制作を行うことで、計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。
到達目標	①造園空間の計画・設計・施工までの一連の作業の流れを習得する。 ②1年次の各種授業での技術を各論として学んだ成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。 ③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。
授業外の学習	図面の作成
評価方法	取組姿勢(70%)、提出物(30%)
教科書	『造園施工必携』（日本造園組合連合会）
参考書	『ガーデンデザインのプレゼンテクニック』（彰国社）
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	学内と学外に約10㎡の小庭園を施工する。計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。毎回、実習の内容を野帳に記して翌日提出すること。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	学園祭小庭園①	設計作業の流れと現地調査・測量、計画設計案作成	新井
2	4	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園①	現地調査・測量	新井
3	4	学園祭小庭園②	プレゼンテーション	新井
4	4	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園②	現況図の作成	新井
5	8	学園祭小庭園③	準備工、造成工、園路広場工	新井
6	8	学園祭小庭園④	植栽工	新井
7	4	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園③	テーマ分析、事例調査、コンセプト検討	新井
8	4	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園④	ゾーニング、動線計画、平面図、立面図の作成	新井
9	4	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑤	詳細図、イメージ図の作成	新井
10	4	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑥	プレゼンテーション	新井
11	8	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑦	準備工、造成工	新井
12	8	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑧	園路広場工	新井
13	8	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑨	施設工	新井
14	8	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑩	植栽工	新井
15	8	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑪	掃除、片付け	新井
16	2	ぎふワールド・ローズガーデン小庭園⑫	まとめ	新井

特記事項	屋外での施工実習時には、適切な服装等を着用すること。天候により実習内容を変更する場合がある。
学生へのメッセージ	造園空間ができるまでのデザインプロセス、施工プロセスを学び、将来の仕事に活かしてください。

NO.13

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
2級造園技能検定対策実習	〇新井 俊宏☆・若尾 光秀☆（非常勤講師）	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	45	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	造園技能士は造園に関する知識と技能の試験を行い、その合格者に与えられる国家資格である。造園技能士は、一般の家庭の庭づくりや維持管理ばかりでなく、大規模な公共工事の現場で従事することが義務づけられるなど、社会的な必要性が高まっている。本科目では2級造園技能検定の合格を目指す。
到達目標	①学科試験の合格水準に達する知識を習得する。 ②実技試験（製作等作業試験）に関し、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。 ③実技試験（判断等試験）に出題される樹木を判別することができる。
授業外の学習	・実技試験の自主練習 ・学科試験、判断等試験の自主学習
評価方法	取組姿勢(80%)、実技(20%)
教科書	『造園実技作業の手引き（1，2級）』（日本造園組合連合会）、『造園技能検定学科試験問題集 出題区分別精選500題』（日本造園組合連合会）
参考書	『葉っぱでわかる造園樹木図鑑』（講談社）
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	学科試験対策は、『造園技能検定学科試験問題集』の過去問題を解きながら解説を行う。 実技試験対策は、練習場において、繰り返し課題を制作して練習する。 判断等試験対策は、学内の樹木枝を標本木として枝、葉、芽などの特徴を覚える。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	試験概要	学科・実技試験の概要説明	新井
2	4	判断等試験対策①	樹木枝の収集、樹木の特徴解説	新井
3	4	学科試験対策①	過去問題による学科試験の出題傾向と対策	新井
4	4	実技試験対策①	実技試験課題の練習（竹垣）①	若尾・新井
5	4	実技試験対策②	実技試験課題の練習（竹垣）②	若尾・新井
6	4	実技試験対策③	実技試験課題の練習（縁石、敷石）①	若尾・新井
7	3	学科試験対策② 判断等試験対策②	過去問題による学科試験の出題傾向と対策・判断等試験対策	新井
8	4	実技試験対策④	実技試験課題の練習（縁石、敷石）②	新井
9	4	実技試験対策⑤	実技試験課題の練習（制限時間内での練習）①	新井
10	4	実技試験対策⑥	実技試験課題の練習（制限時間内での練習）②	新井
11	4	実技試験対策⑦	実技試験課題の練習（制限時間内での練習）③	新井
12	4	実技試験対策⑧	実技試験課題の練習（制限時間内での練習）④	新井

特記事項	担当教員と事前に相談の上、「相互科目履修申請書」を提出し、許可を受けた1年生も履修することができる。 天候などの理由により実習日程を変更する場合がある。
学生へのメッセージ	1級造園技能士の資格を持つ教員が試験合格に向けての知識・技能を指導します。

NO.14

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
造園工学・施工論	〇新井 俊宏☆、日比 真一☆（非常勤講師）	

授業形態	講義	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	建設業法で定められている造園工事業では、その専門性に精通している造園施工管理技士の資格を有した人材が必要とされている。2級造園施工管理技術検定合格のためには幅広い出題範囲をカバーした受検対策が必要となる。本科目では現場経験のない学生を対象として、2級造園施工管理技術検定第一次検定（学科試験）合格を目指す。
到達目標	①2級造園施工管理技術検定の第一次検定について合格水準に達するよう知識を習得する。
授業外の学習	・教科書で予習を行うこと。 ・各授業で学んだことをノートに整理すること。 ・過去問題を解き、自分の苦手とする項目を重点的に学習すること。
評価方法	取組姿勢(80%)、筆記試験(20%)
教科書	『2級造園施工管理試験』（オーム社）
参考書	『造園施工必携』（日本造園組合連合会）
関連する資格	2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	施工管理の職能	資格と実務、施工管理（原価管理、工程管理、品質管理）	日比
2	4	造園材料	石材、木材、セメント、タイル、レンガ、植物材料（樹木、一年草、宿根草、球根）等	新井
3	4	土壌と肥料、植生、植栽計画、移植工、植栽工	土壌、肥料、植生、調査と計画、植栽施工準備、移植の条件と方法、植栽時期と施工	新井
4	4	植栽管理、公園施設	整姿剪定、病害虫、遊戯施設、屋外運動施設等	新井
5	4	土工、コンクリート工、舗装工、擁壁工	盛土と切土・土量の配分・建設機械と施工能力等、コンクリートの施工と品質管理・アスファルト舗装・鉄筋コンクリート擁壁等	新井
6	4	建築工事、設計・測量、設備関連工事	木造建築・茶室・測量・設計図書等、建築工事・電気工事・給水工事・排水工事	新井
7	4	安全衛生、施工及び施工管理関連法令、最近の試験動向	安全衛生に関する法令・施工及び施工管理に関連する法令	新井
8	2	安全管理、最近の試験動向	安全管理、試験動向	日比
9	2	試験	筆記試験	新井

特記事項	在学中は第一次検定のみ受検可能である。第二次検定は実務経験年数2年以上で受検可能となる。
学生へのメッセージ	造園施工管理技士は、造園施工管理会社、公園管理団体、公務員などの職場で必要となる資格なので、造園分野への就職希望者には第一次検定の受検を薦めます。

NO.15

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
SNSプロモーション	〇井上 守☆、尾関 純子☆(非常勤講師)	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	マーケティング

背景と目的	SNS（ソーシャルネットワークサービス）の普及により、誰もが簡単に情報の入手・発信ができる時代となってきている。今では企業のSNSによる商品の情報発信は、必要不可欠な営業戦略となっている。本科目では、YouTubeによる情報発信を、動画の編集からアップロードまでの実践を通して、SNSにおけるプロモーションを学ぶ。
到達目標	①YouTubeの仕組みを理解する。 ②ビデオエディター等の動画作成アプリを使って動画編集できる。 ③YouTubeにプロモーション動画（作品）をアップロードする。
授業外の学習	興味のある園芸関係のYouTubeの動画を見ておくこと。
評価方法	取組姿勢（50%）、制作物（50%）
教科書	
参考書	『YouTube完全マニュアル』（秀和システム）
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	受講者はアカデミーで学んだ知識や技能を情報発信する動画を作成し、YouTubeにアップロードして、その発表会を行う。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	SNSとは	SNSの利用とその現状	井上
2	4	YouTubeでできる事	YouTubeのサービスの内容とコンテンツと著作権	井上
3	4	YouTube事例研究①	サムネイル、概要欄の活用事例	井上
4	4	YouTube事例研究②	企業におけるYouTubeの活用例を研究、ストーリーボード作成	井上
5	2	先進事例視察	花のユーチューバー尾関純子氏（花創人ガーデニング教室　代表）のスタジオを訪問	尾関 井上
6	6	動画編集、制作	各自において動画撮影、編集	井上
7	4	YouTubeの広告とアクセス解析	動画撮影、ビデオエディター等による動画編集	井上
8	4	発表会	作品を視聴、アクセス解析のコメント	井上

特記事項	動画撮影のためスマートホン、デジタルカメラ等を用意する。
学生へのメッセージ	動画編集は、こだわれば長時間に及ぶことがありますが、完成後の達成感がります。また、卒業後振り返ると、いい思い出になります。

NO.16

科　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
キャリアデザインⅡ	〇佐藤 智茂☆、伊藤 健文☆（非常勤講師）	

授業形態	講義	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	必修	分野	マネージメント

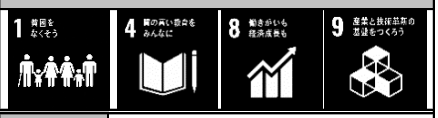
背景と目的	人生100年時代を生きる若者は、働き方もこれまで標準（モデル）とされている形態から大きく変化する可能性が指摘されている。 『キャリアデザインⅠ』で育んだ勤労観や職業観をもとに、家計に関する知識、働く際に必要となる労働や租税（主に所得税）に関する基本的な法律知識、また協働のためのディスカッションスキルを学び、新しい時代に生きる自らの働き方生き方をデザインできるようになることを目的とする。
到達目標	①金銭面での具体的な生活設計を理解する。 ②採用試験（面接）への対応を知る。 ③建設的なディスカッションを体感し、協働の必要性を理解する。 ④労働法、給与、租税法（主に所得税）、資産形成に関する知識を理解する。
授業外の学習	配布した資料をしっかり読む（読み返す）こと。
評価方法	取組姿勢(50%)、筆記試験（50%）
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	ライフプラン作成	生活費（1ヶ月）の計画を通して給与を考える	佐藤
2	2	就職活動について①	求人票の見方（ポイント）	佐藤
3	2	就職活動について②	面接試験の流れ、面接のポイント	佐藤
4	2	就職活動について③	前回に続き、面接試験の流れ、面接のポイント	佐藤
5	8	グループ討議（会議）の実践	ディスカッションを通して意思疎通や合意形成などを体感する	佐藤
6	2	労働法①	就職活動の際に知っておきたいこと（労働条件と契約）	佐藤
7	2	労働法②	働き始めておかしいな、と感じたら	佐藤
8	2	労働法③	労働に関する紛争（裁判事例等）の話	伊藤
9	2	給与明細について①	給与の仕組み、給与明細の見方	佐藤
10	2	給与明細について②	給与等にかかる租税・社会保険制度の概要	佐藤
11	2	資産形成	金融商品に関する知識（収益性、安全性、流動性）、貯蓄と投資の違い（リスクとリターン）、	佐藤
12	2	試験	筆記試験	佐藤

特記事項	自主学習、特に復習は不可欠である。
学生へのメッセージ	働く人として知っておくべき労働や租税に関する基本的な知識を学び、そして協働感覚を養いましょう。

NO.17

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
基本簿記	〇佐藤　智茂☆	

授業形態	講義	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	マネージメント

背景と目的	ビジネス社会の共通言語は簿記・会計。本科目の目的は、全ての働く人にとって大切な「基礎的な簿記・会計の力」を身につけることである。
到達目標	日本商工会議所主催簿記検定初級水準の知識を習得する。具体的内容は以下の３点 ①簿記の基礎を理解する。 ②仕訳、転記、試算表作成を行える。 ③伝票処理を理解する。
授業外の学習	授業後の復習、そして小テスト返却後にしっかり振り返り学習を行うこと。
評価方法	取組姿勢(30%)、小テスト（20％）、筆記試験(50%)
教科書	スッキリわかる 日商簿記初級 最新版（TAC出版）
参考書	―
関連する資格	日本商工会議所主催　簿記検定初級

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	簿記の基礎	簿記の基礎（取引、記録、財務諸表）、仕訳	佐藤
2	2	仕訳①（商品売買１）	三分法・掛取引	佐藤
3	2	仕訳②（商品売買２）	クレジット取引・返品・諸掛	佐藤
4	2	仕訳③（現金・預金）	現金・小切手・預金種類	佐藤
5	2	仕訳④（売上債権・仕入債務）	手形・電子記録債権債務	佐藤
6	2	仕訳⑤（貸付金・借入金）	金銭貸借・利子	佐藤
7	2	仕訳⑥（その他取引１）	商品売買以外の取引・前受・前払	佐藤
8	2	仕訳⑦（その他取引２）	仮払・仮受・立替・預り・給与・消耗品	佐藤
9	2	固定資産	固定資産売買・減価償却	佐藤
10	2	税・資本金	租税公課・消費税・資本取引	佐藤
11	2	帳簿	仕訳帳・総勘定元帳	佐藤
12	2	試算表	試算表作成	佐藤
13	2	伝票・仕訳日計表	三伝票制・仕訳日計表と総勘定元帳	佐藤
14	2	これまでの振り返り	既習範囲の振り返り	佐藤
15	2	試験	筆記試験	佐藤

特記事項	自主学習は重要、予習と復習は不可欠である。 理解度により授業内容の進め具合の調整を行うことがある。
学生へのメッセージ	ゲーテは著作中の登場人物に簿記のことを「人間の精神が生んだ最高の発明の一つ」と語らせています。数字や計算に苦手意識のある人も積極的に学びましょう。

NO.18

科　　目	担当教員（〇主担当）	SDGs
園芸文化研修	〇今西 良共☆、武田 純☆（客員教授）、鹿野 陽子☆（客員教授）、加藤 友規☆（非常勤講師）、小笠原 誓☆（非常勤講師）	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	選択	分野	文化・利用

背景と目的	人は植物を観ること、食すること、活用することを通じて自らの生活・環境をより豊かなものにしてきた長い歴史があり、私たちと植物、引いては園芸・造園は切っても切れない強い結びつきがある。 この授業では、歴史・文化の一大集積地である京都を訪ね、日本の園芸・造園の歴史を体現している都市公園や文化財庭園などを視察し、伝統文化に対する見聞を広げ、考察を深める。
到達目標	①日本の園芸・庭園文化を体感し、自らの見識を養い理解する。 ②これまでに学んできた「花と緑」に関する知識や技能と園芸・庭園文化との繋がりを理解する。 ③園芸・造園の社会的意義を知り、長い歴史に培われて来た文化的景観を理解する。
授業外の学習	配布資料を通読し、必要に応じ各自にて事前または事後の予備学習を行うこと。 視察先ごとにレポートとしてまとめておくこと。
評価方法	取組姿勢(40%)、レポート(60%)、
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	京都視察研修は夏季休暇中に集中授業（2泊3日）として実施予定である。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	江戸の園芸文化	江戸時代の資料を見ながら当時の園芸文化を知る	小笠原
2	2	京都の庭園文化	南禅寺、無鄰菴、對龍山荘、天竜寺など	今西
3	2	花版「世界ふれあい街歩き」	ヨーロッパ、北アメリカ、東南アジア、オセアニアの各地の花文化	小笠原
4	8	京都視察研修（1日目）	①講義：造園の思想と技法 ②視察：梅小路公園（朱雀の庭を主に）	今西・武田
5	8	京都視察研修（2日目）	視察：南禅寺、無鄰菴、對龍山荘　等	今西・加藤
6	8	京都視察研修（3日目）	視察：天龍寺庭園及び嵐山公園界隈（文化財庭園・景観）	今西・鹿野

特記事項	京都研修における移動交通手段は本学マイクロバスを利用する予定である。 京都研修時の服装や行動等、団体行動であるため指導教員の指示に従う必要がある。 視察先は、諸事情により変更になることがある。
学生へのメッセージ	『千年の都』とも称される京都の文化財庭園・都市公園・文化的景観を訪ね、そして観ることを通して日本の園芸文化を肌で感じ、学んでください。

NO.19

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
盆栽実習	〇福本 野恵☆（非常勤講師）	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	15	区分	選択	分野	文化・利用

背景と目的	盆栽は日本の伝統的な園芸文化でありながら、現代の日本人には「古臭い」イメージを持つ人が多いのか、これらを楽しむ人や伝統を受け継ぐ人が減少している。 これに対して、海外では盆栽の精神性や芸術性が高く評価され愛好者が増え続け、今ではbonsaiは「Cool Japan」の中心である。本科目では盆栽を専門講師から基礎を学び、実際に制作する事によって、盆栽の精神性、芸術性を理解して、その魅力を承継してゆく。
到達目標	①盆栽の歴史について知る。 ②盆栽の自然観と精神性に触れる。 ③盆栽の剪定、針金掛け、植え替えを習得する。
授業外の学習	盆栽に関するニュースや新聞記事、特に海外で発信される情報には注目しておくこと。
評価方法	取組姿勢(50%)、制作物（50%）
教科書	
参考書	―
関連する資格	

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	2日間の集中講義として実施する。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	盆栽概論	盆栽の歴史と神髄、現在の盆栽ブームについて	福本
2	2	盆栽制作①	材料、花材の解説	福本
3	4	盆栽制作②	芽摘み、剪定	福本
4	4	盆栽制作③	針金掛け	福本
5	2	盆栽制作④	土作り、植え替え	福本
6	1	評価	講評、評価	福本

特記事項	道具は学校で準備する。
学生へのメッセージ	盆栽の魅力を日本人よりむしろ外国人の方が評価しているのではと感じられるくらい海外では注目が集まっています。日本の誇るべき伝統園芸文化を受け継ぎ、伝承していきましょう。

NO.20

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
植物管理基礎実習Ⅲ	〇前田 宝秀、臼田　浩通、吉田 久美子☆、林 誠☆、相田 明、新井 俊宏☆、井上 守☆、佐藤 智茂☆	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	30	区分	必修	分野	植物管理

背景と目的	花き生産・花き装飾・造園緑化の各分野において、四季を通じて植物を管理するための知識および技術は必ず習得すべきものである。また、習得した知識・技術を他人に伝える能力は、社会で働く上で重要である。 本科目では、『植物管理基礎実習Ⅰ・Ⅱ』を通じて1年間学んできた植物管理知識、技術、経験を1年生に伝えることで、自分自身のレベルを再確認するとともに、どのように相手に対して自分が持っている知識、技術、経験を伝えれば良いのかを学ぶ。
到達目標	①春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。 ②春・夏期における潅水技術を習得する。 ③春・夏期における温室の管理技術を習得する。 ④上記の知識・技術を他者に伝達する能力を身につける。
授業外の学習	・実習前に、当日および翌日の天気予報を必ず確認すること。 ・実習後に週間レポート用紙に一週間の気温、天気、実習内容、1年生への指導内容等を記入し提出すること。
評価方法	取組姿勢（80%）、レポート（20%）
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	原則1週間（水曜日～翌週火曜日）を単位として管理実習を行う。学生の班編成を行い、半期の計画を作成して実習を行う。学生の班編制は、季節の作業内容や管理するエリア等を考慮して人数を決める。原則として1年生1名に対して2年生1名が組み、担当教員が植物管理について指導を行う。

回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	植物の種類と管理	植物の種類に応じた管理方法	週担当教員
2	4	土壌と潅水	土壌の性質と水管理、自動潅水と手潅水による管理技術	週担当教員
3	4	植物の生長・開花	植物の特性に応じた環境調節（遮光、保温、暖房等）技術	週担当教員
4	4	植物の総合管理	花殻摘み・除草などの植物維持管理技術、病害虫の種類と生態	週担当教員
5	4	1年生への指導①	植物管理について習得した知識、技術の1年生に対する伝達、指導	週担当教員
6	4	1年生への指導②	植物管理について習得した知識、技術の1年生に対する伝達、指導	週担当教員
7	4	1年生への指導③	植物管理について習得した知識、技術の1年生に対する伝達、指導	週担当教員
8	2	春・夏期の植物管理方法	春・夏期の各エリアの植物管理方法（講義）	週担当教員
9	2	エリア整備	各エリアの整備を通じた、環境美化意識の向上	週担当教員

特記事項	半期の計画に基づき、おおむね1週間の実習を複数回行う。 祝日及び長期休暇期間中も行う。 実習時間は平日は朝8時から8時45分、夕方16時35分から17時05分まで、祝日及び長期休暇期間中は朝8時30分から9時30分、夕方16時から17時までとする。
学生へのメッセージ	『植物管理基礎実習Ⅰ・Ⅱ』を通じて身に付けた植物管理についての知識、技術を再確認すると同時に、1年生への管理指導を行うことでさらなるスキルアップを目指して下さい。

NO.21

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
海外視察研修	〇吉田 久美子☆、井上 守☆、相田 明、 各コース担当教員	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	90	区分	必修	分野	国際性

背景と目的	グローバル化の流れは園芸業界にも押し寄せ、もはや好むと好まざるに関わらずに対応してゆかねばならない。そこで、世界最大規模のチェルシーフラワーショウの開催に合わせて英国を訪問し、最新のフラワーデザインやガーデン展示と花き関連施設を視察し、国際都市ロンドンの園芸産業の動向を理解する。 また、ロンドンやコッツウォル地方の伝統的な有名庭園をめぐり、イングリッシュガーデンの普遍的な魅力を理解することで、園芸の新、旧の魅力を融合して、園芸に関する理解を深めると共に国際感覚を養う。
到達目標	①チェルシーフラワーショウはじめ英国の有名庭園や花き流通動向、最新のフラワーデザインを知る。 ②研修テーマを設定し、テーマに応じた調査ができる。 ③海外体験を通して国際感覚を養う。 ④研修内容をとりまとめ、報告することができる。
授業外の学習	イギリスに関するニュースに興味を持ち、特に園芸・庭園関係に関する情報については、必要に応じて留め置くこと。
評価方法	取組姿勢（引率教員20%、コース教員30%）、日報(30%)、報告会(20%)
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	視察は7泊9日でコッツウォルズ3泊、ロンドン4泊。5月19日～5月27日を予定。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	ガイダンス	概要説明	吉田
2	2	事前研修①	英国園芸の歴史とその特徴	相田
3	2	事前研修②	ヨーロッパのフラワーデザイン	吉田
4	2	事前研修③	研究テーマ設定	各コース担当教員
5	64	海外研修	＜コッツウォルズ地区＞ ボートンオンザウォーター ヒドコートマナーガーデン、キフツゲートコートガーデン バイブリー、スードリー城 ブレナム宮殿 ＜ロンドン地区＞ フラワービジョン キューガーデン、ウィズリーガーデン チェルシーフラワーショウ グレートディクスターガーデン、シシングハーストカースルガーデン ＜班別テーマ視察＞ 各自のテーマで視察	吉田
6	10	報告書とりまとめ	報告書とりまとめと報告会資料作成	各コース担当教員
7	8	海外視察研修報告会	個別テーマについて報告	各コース担当教員

特記事項	渡航先の諸事情により、視察先が変更となる場合がある。 新型コロナ感染状況等によっては、国内視察研修に変更する場合がある。 諸事情により海外視察研修に参加できない場合は、担当教員と相談のうえ、国内研修に振り替えることができる。報告会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	チェルシーフラワーショウが開催される5月後半は、園芸業界は繁忙期で一度就職してしまうと、なかなか見に行くチャンスはありません。若いうちにチェルシーを見て刺激を受ける事ができるのは学生の特権といえます。

NO.22

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
インターンシップⅡ	〇各コース担当教員	

授業形態	実習	開講時期	2年前期	時間数	60	区分	選択	分野	就業体験

背景と目的	新卒者の3年内離職率は過去平均して40%程度で推移しており、就業後のミスマッチが発生していると考えられる。 本科目では学生が受入先企業・団体等で「実際に職務を遂行するための姿勢や態度」を実践することで、今後の職業・企業選択に活かし、また授業への動機付けとなることを目的とする。
到達目標	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。 ②研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。 ③研修を振り返り、研修内容をとりまとめることができる。
授業外の学習	返却された『日報』をしっかり通読する時間を設け、自らの体験学習を振り返ること。
評価方法	取組姿勢(10%)、日報(30%)、受入先企業評価(30%)、報告書(30%)、
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	①担当教員と十分な事前相談→②受入先企業・団体の指導の下で7日間の就業体験→③報告書の作成			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	事前準備	受入先企業・団体や従事期間の相談	各コース担当教員
2	56	インターンシップ実施（7日間）	受入先企業・団体等での業務に従事（実習）	各コース担当教員
3	2	報告書作成	報告書の作成	各コース担当教員

特記事項	受入先企業・団体等の選定や事前の準備など、専攻するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業等の一員である」意識を持ち、ビジネスマナーに留意すること。また実習時の怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に注意すること。
学生へのメッセージ	選択授業ですので『インターンシップⅠ』以上に自分なりのテーマを持ち、就職を検討している業界・業種・企業の仕事を学び、今後の学習への動機づけとしてください。

NO.23

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
スマート農業研修	〇臼田 浩通	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	15	区分	選択	分野	花き生産流通

背景と目的	日本の農業は高齢化による担い手の減少や熟練技術の途絶などが大きな問題となっている。 これらの課題を解決する手段として、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現するスマート農業が注目されている。 本授業では、こうしたスマート農業技術の現状を調査・習得し、花き生産にどのように活用できるかを理解することを目的とする。
到達目標	①スマート農業の基本的知識を習得する。 ②施設園芸の環境制御の基礎知識を習得する。
授業外の学習	園芸全般の最新技術に関心を持つため『農耕と園芸』（誠文堂新光社）などを読む事。
評価方法	取組姿勢（30%）、レポート(70%)
教科書	－
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	スマート農業の現場を調査し、現状の課題や今後の可能性について考え、レポートにまとめる。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	1	スマート農業とは	スマート農業の概要と本校の取組状況	臼田
2	2	環境制御の考え方について	環境制御の基礎と事例紹介	臼田
3	8	学外視察 岐阜県スマート農業推進センター・農業技術センター	スマート農業技術の現地調査	臼田
4	4	スマート農業の課題検討	スマート農業の課題と今後の可能性について討議	臼田

特記事項	スマート農業は、これからの日本農業推進のキーワードである。未来の農業を想像すること。 学外視察先は変更する場合がある。
学生へのメッセージ	全4回の短期集中で行う科目となります。花き生産コース以外の学生さんにも、農業の未来を考える機会として履修をお勧めします。

NO.24

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
フラワービジネス演習	〇吉田 久美子☆、林 誠☆	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	15	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	フローリストになるためにはフラワービジネスにおけるマーケティングとコストの理解は不可欠である。 本科目では特筆すべき生花店、園芸店、市場をピックアップして、ビジネスモデルや独自の工夫、地域性に着目して、訪問先の経営の特徴を把握するとともに、フラワービジネスにおけるマーケティングとコストについて理解し、 考察を深めることを目的とする。
到達目標	①花のビジネスモデルを知る。 ②フラワービジネスにおけるコスト、マーケティングについて理解する。
授業外の学習	視察先ごとにレポートにまとめておくこと。 市場調査のため早朝市場へ行きます。
評価方法	取組姿勢(60%)、レポート(40%)、
教科書	—
参考書	『フローリスト』（誠文堂新光社）、『花時間』（株式会社KADOKURA）
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	市場やショップに視察に行き考察する。

授業計画

回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	フラワービジネス概論	フラワービジネスにおけるマーケティングとコスト	吉田・林
2	4	市場視察	視察：中京花卉園芸農業協同組合、岐阜生花市場　等	吉田・林
3	8	ショップ視察	視察：県内ショップ　（フラワーショップ、園芸店、資材店　等）	吉田・林
4	1	まとめ	視察の考察・まとめ	吉田・林

特記事項	視察先は、諸事情により変更になることがある。 花き装飾コース専攻生には強く推奨する。
学生へのメッセージ	さまざまなフラワービジネスを知って人生の幅を広げてください。

NO.25

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
造園積算・施工管理演習	〇新井　俊宏☆	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	15	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	造園空間がどのような過程を経て施工されているのか、実際の現場での施工管理のあり方や公共工事で必要となる設計図書に関して、実践的な対応の方法と現場で必要な心構えを織り込んで講義し、その遂行に必要な知識を演習により習得する。
到達目標	①造園工事に関する基礎知識と設計積算、見積、施工管理（出来形、出来高、品質管理、写真管理）を理解し、積算、見積り、現場施工管理ができるようになる。
授業外の学習	授業で学んだ内容を復習すること。
評価方法	取組姿勢(40%)、提出物(30%)、筆記試験(30%)
教科書	『造園施工必携』（日本造園組合連合会）
参考書	『造園修景積算マニュアル』（建設物価調査会）、『建設物価』（建設物価調査会）、『積算資料』（経済調査会）
関連する資格	２級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	造園工事	造園工事の流れについて	新井
2	2	設計図書、仕様書	設計図書と仕様書の書類内容について	新井
3	2	工事費の構成と数量計算	工事費の構成、数量計算	新井
4	2	工事費の積算①	工事費の積算①（明細書の作成）	新井
5	2	工事費の積算②	工事費の積算②（内訳書の作成）	新井
6	2	施工計画	施工計画、写真撮影計画	新井
7	2	出来形管理、出来高管理、品質管理、工程管理、写真管理	出来形管理、出来高管理、品質管理、工程管理、写真管理	新井
8	1	試験	筆記試験	新井

特記事項	造園緑化コース専攻生に推奨するとともに、前期の『造園工学・施工論』を履修しておくことも推奨する。
学生へのメッセージ	積算や施工管理は造園施工では欠かすことのできない知識、技術ですので、ここで学んだことを将来の仕事に活かしてください。

NO.26

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
公園・緑化概論	〇今西　良共☆	

授業形態	講義	開講時期	2年後期	時間数	15	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	新たな時代に対応する都市公園の管理運営業務を総括的に計画、実行するマネジメント能力を備えた人材が求められています。 そのために都市公園・都市緑化に関する基本知識、幅広い意識とビジョンの涵養および最新の知識の習得を図るものです。
到達目標	①都市公園・都市緑化に関する基本法令、制度についての基礎知識を習得する。 ②都市環境の改善及び都市の防災性の向上等、今日の都市が直面している課題の解決に資する都市公園・緑化のあり方、都市公園における適切な維持管理等について知識や知見を習得する。
授業外の学習	公園や街路樹など日常的に関心を持って観察し、写真などに記録すること。
評価方法	取組姿勢（30%）、レポート(70%)
教科書	―
参考書	『公園管理ガイドブック改訂版―公園管理運営のための必携書』（一般社団法人　公園財団）
関連する資格	公園管理運営士、造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	緑の機能と役割	公園とは、緑地とは、公園緑地行政の歩みと概要	今西
2	2	緑に関わる法令	都市公園法、都市緑地法など	今西
3	2	緑の保全と緑化の推進	施策・事業	今西
4	2	公園緑地の計画と整備	施策・事業	今西
5	2	公園緑地の管理運営①	維持管理	今西
6	2	公園緑地の管理運営②	運営管理、指定管理者制度、公民連携	今西
7	2	道路空間緑化	街路樹の変遷、街路樹の現況、道路空間の計画と設計、維持管理	今西
8	1	事例紹介	公園緑化にかかる最新事例の紹介	今西

特記事項	休日を利用して事例視察を行う予定であるが、参加については任意とする。
学生へのメッセージ	将来、公園緑地の現場で実務責任者として必要な知識を幅広く身に付けましょう。

NO.27

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
植物ビジネス論	〇井上 守☆、臼田 浩通、前田 宝秀、吉田 久美子☆、林 誠☆、相田 明、新井 俊宏☆、佐藤 智茂☆	

授業形態	講義	開講時期	2年後期	時間数	15	区分	選択	分野	マネージメント

背景と目的	2年後期は、今まで学習してきた様々な事を土台にさらに高みを目指してく時期でもある。本科目は卒業後に学生が大きく飛躍できるように、担当教員がそれぞれの分野で、卒業するまでに学生に聞かせたい・知ってもらいたい内容を厳選し、その分野でオーソリティーやパオイオニアとして活躍する業界人（ビジネスパーソン）を講師に迎え、講演をオムニバス形式で行うものである。
到達目標	①各分野の最新の事例や秀逸な取り組みを理解する。 ②専門分野に関係の深い講師と人的ネットワークを構築する
授業外の学習	講演終了後、レポートが課される。
評価方法	取組姿勢（20%）、レポート（80%）
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	各講師は、それぞれの分野において、特筆すべきビジネススタイルを実践する人を厳選しています。

回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	1	講義の概要説明	担当教員による各講義の概要説明、レポートの説明	井上、臼田、前田、吉田、林、相田、新井、佐藤
2	2	横山園芸代表 横山　直樹	園芸業界を元気にする花き生産ビジネス	井上 前田
3	2	梨乃花FIND 北欧ﾌﾗﾜｰﾃﾞｻﾞｲﾝ協会 Flower School LINOKA Kukka代表 ヘンティネン　クミ	欧州・フィンランドのフラワーデザイン	井上 吉田
4	2	(株)豊田ガーデン　代表取締役 天野　勝美	「ガーデニングミュージアム花遊庭」開園の目的	井上 相田
5	2	有限会社矢祭園芸 代表取締役 金澤美浩	オリジナル品種を核とした経営展開と今後の展望	井上 臼田
6	2	元愛知教育大学　教授 市橋　正一	洋ランの現在、過去そして未来	井上 林
7	2	西日本短期大学 緑地環境学科学科長　西川　真水	造園の仕事に就くあなたが、学生のうちに学んでおくべきこと	井上 新井
8	2	中国JIAXING SHUYI GARDEN 勤務 田中　修一	中国の造園ビジネス、現状と今後の展望	井上 佐藤

特記事項	講演の順番や日時は講師の都合により、変更する場合がある。
学生へのメッセージ	各教員が、卒業間近の学生に贈る取っておきの業界人の講演です。

NO.28

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
インターンシップⅢ	〇各コース担当教員	

授業形態	実習	開講時期	2年後期	時間数	150	区分	必修	分野	就業体験

背景と目的	新卒者の3年内離職率は過去平均して40%程度で推移しており、就業後のミスマッチが発生していると考えられる。 本科目では学生が『インターンシップⅠ・Ⅱ』を踏まえ「仕事に臨む姿勢や態度」を十分に実践できるようになることを目指す。また就職・企業選択を円滑に行うための、そして今後の授業を自分の学習課題の解決の場と捉えるための契機とする。
到達目標	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を知り実践できる。 ②受入れ企業の事業活動を理解し、研修で得た気づきや学びを振り返る力を習得する。 ③研修内容をとりまとめ、報告することができる。
授業外の学習	返却された『日報』をしっかり通読する時間を設け、自らの体験学習を振り返ること。
評価方法	取組姿勢(30%)、日報(30%)、受入先企業評価(20%)、報告会(20%)、
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	①担当教員と十分な事前相談→②受入先企業・団体の指導の下で15日間の就業体験→③報告会へ向けての振り返りと資料づくり→④報告会で発表			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	2	事前準備	受け入れ先企業の検討等詳細を相談	各コース担当教員
2	120	インターンシップ実施（15日間）	受入先企業・団体等での業務に従事（実習）	各コース担当教員
3	12	報告書とりまとめ	報告書とりまとめと報告会資料作成	各コース担当教員
4	8	報告会	プレゼンテーション形式による発表と参加	各コース担当教員
5	8	インターンシップⅠ報告会	インターンシップⅠ報告会への参加	各コース担当教員

特記事項	受入先企業・団体等の選定や事前の準備など、専攻するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業等の一員である」意識を持ち、ビジネスマナーに留意すること。また実習時の怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に注意すること。 報告会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	これまでに学び得たスキルを活かしながら「現場で必要とされる人になるには、残りの学生生活で何を学ぶべきか」を自問自答する契機としてこの授業へ臨んでください。

NO.29

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	〇臼田 浩通、井上　守☆、前田 宝秀	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	240	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	『生産課題解決演習』の結果を踏まえ、卒業論文作成に向けた調査・研究に取組むことにより、課題解決能力の向上を図る。
到達目標	①個別課題のテーマを設定することができる。　　④論文要旨を発表することができる。 ②調査・研究を行うことができる。 ③調査・研究結果の内容をまとめることができる。
授業外の学習	授業時間外であっても、個別課題の調査・研究で扱う植物については、常に観察を行うこと。
評価方法	取組姿勢（50%）、卒業論文（40%）、発表会（10%）
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	個別課題を設定し、調査・研究を行い、卒業論文としてとりまとめる。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	4	個別課題の計画	調査・研究の計画書作成	臼田・井上・前田
2	4	試験区の設置	調査・研究の試験区設置	臼田・井上・前田
3	50	調査・研究の実践	課題解決に向けた調査・研究の実践	臼田・井上・前田
4	8	進捗状況の確認	担当教員との調査・研究の進捗状況確認	臼田・井上・前田
5	4	調査・研究の見直し	調査・研究内容の見直しと追加	臼田・井上・前田
6	20	追加調査・研究などの実践	課題解決に向けた調査・研究の継続と追加実施	臼田・井上・前田
7	4	追加調査の進捗状況確認	担当教員との追加調査・研究等の進捗状況確認	臼田・井上・前田
8	20	結果の評価	調査・研究結果のとりまとめ	臼田・井上・前田
9	4	卒業論文作成準備	論文の執筆に向けた構成検討	臼田・井上・前田
10	54	卒業論文作成（下書き）	論文の執筆（下書き）と修正	臼田・井上・前田
11	16	卒業論文作成（清書）	論文の執筆（清書）	臼田・井上・前田
12	4	卒業論文見直し	論文の最終見直し	臼田・井上・前田
13	32	発表会準備	発表会の準備	臼田・井上・前田
14	8	発表会	発表と参加	臼田・井上・前田
15	8	振り返り	発表会の反省と論文の見直し	臼田・井上・前田

特記事項	個別課題のテーマや、進捗状況などにより授業内容は変更する場合がある。 卒業論文作成及び発表に向けてしっかりと計画を立てること。 発表会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	2年間学んできたことを振り返り、学びの内容をしっかりと記録に残せるようにしましょう。

NO.30

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	〇吉田 久美子☆、林 誠☆、安保 有美☆(非常勤講師)	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	240	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	今まで学んだ花き装飾の知識と技術の集大成として、各自でそれぞれの課題に取り組みながら実践的な技術を身につけ、課題解決能力の向上を図る。
到達目標	①各自の課題設定に基づき、計画を立て、制作を繰り返すことで実践的な即戦力となる技術を習得することができる。 ②制作物の制作過程を記録に残す。 ③プレゼンテーションをすることができる。
授業外の学習	図書室にある花き装飾系の本や雑誌『フローリスト』『花時間』などを参考にアイデア出しを行っておくこと。
評価方法	取組姿勢(70%) 報告書(20%) 発表会(10%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』（講談社）
参考書	―
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士、2級・3級園芸装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	個人課題を各自設定し計画を立て、デザイン～仕入れ～制作～指摘～再制作を繰り返す。

回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	10	個人課題①	個人課題の研究及び制作・計画	吉田・林
2	20	個人課題②	個人課題の研究及び制作・生花店・市場での花材資材調達	吉田・林
3	10	個人課題③	個人課題の研究及び制作・原価と売価の算出方法	吉田・林
4	60	個人課題④	個人課題の研究及び制作	吉田・林
5	8	個人課題⑤	実務者による指導	安保
6	10	個人課題⑥	学内装飾の制作とメンテナンス	吉田・林
7	10	個人課題⑦	個人課題の研究及び制作・振り返りと見直し	吉田・林
8	10	個人課題⑧	個人課題制作物のリメイク	吉田・林
9	8	個人課題⑨	実務者による指導	安保
10	16	指導力の会得	「花と緑の連携授業」「オープンキャンパス」などのアシスタント 1年生の「インターンシップⅠ」報告会の指導	吉田・林
11	10	個人課題⑩	制作品のまとめとポートフォリオ化	吉田・林
12	26	報告書の作成	報告書の作成	吉田・林
13	26	発表会準備	個人課題の発表準備	吉田・林
14	8	発表会	発表と参加	吉田・林
15	8	振り返り	発表会の反省と論文の見直し	吉田・林

特記事項	花材や資材購入は個人負担(実習経費)となる。予算計画を立てること。 他の発表者に質問するなど、発表会では積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	他の人の作品からも学ぶことはたくさんあります。お互いの作品のデザインを相談したり、作品の感想などを聞いたりしましょう。

NO.31

科　　目	担当教員（〇主担当）	主なSDGs
卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	〇相田 明、新井 俊宏☆、渡邉　三好☆（非常勤講師）	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	240	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	本科目では、2年生前期までに学んだ知識と技術の集大成として、グループ課題と個人課題に課題に取り組むことにより、課題解決能力の向上を図る。
到達目標	①課題に取り組み、解決を図る。 ②その過程や結果について記録を残す。 ③プレゼンテーションをすることができる。
授業外の学習	卒業研究・卒業制作に関する書籍などによる情報収集、実験についてはデータの収集。
評価方法	取組姿勢（40%）、報告書（50%）、発表会(10%)
教科書	—
参考書	—
関連する資格	—

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	学生は進捗状況を担当教員に報告、連絡し、指導を受ける。			
回	時間数	項　　目	授業内容	担当教員
1	44	グループ課題	グループ課題の実施	新井・渡邉
2	16	個人課題の計画	既往研究や事例の調査	相田・新井
3	80	個人課題の実行	卒業研究（調査、実験）、卒業制作（計画・設計、施工）の実施	相田・新井・渡邉
4	4	個人課題の確認	進捗状況の報告、連絡	相田・新井
5	56	課題の取りまとめ	卒業研究・卒業制作についての論文作成	相田・新井
6	24	発表会準備	個人及びグループ課題の発表準備	相田・新井
7	8	発表会	卒業研究・卒業制作の発表会参加	相田・新井
8	8	振り返り	発表会の反省と論文の見直し	相田・新井

特記事項	各自、スケジュールを計画すること。他の発表者に質問するなど、発表会では積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	2年間で学んだことの集大成として、この時間を有効に使い、積極的な取り組み姿勢で臨み、 失敗を恐れず新たな課題に挑戦してください。